

2022年度(令和4年度)学校評価自己評価表

| | | |
|--------|-------|------------------|
| 城南中学校区 | 校番 60 | 福山市立川口東小学校 |
| 最終更新日 | | 2022年(令和4年)4月19日 |

| | |
|--------------|---|
| I 福山市 | <p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p> |
|--------------|---|

II 中学校区

| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも、対話し自分の考えを深めることを大切に取り組む姿勢がよく伺えた。 自ら考え、学ぼうとする力を高めていくため、生徒一人一人を大切にしている様子が伺える。 コロナ禍でもできることを積極的に実施してほしい。 | <p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いの意見を尊重しながら、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒が増えている。 日々の授業や行事等を通して、児童生徒自身が、学び方を考えたり、企画等を考え・実行したりしている。 | <p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p> | <p>課題発見する力(課題を見つける) 対話する力(コミュニケーション) 認める態度(人としての思いやり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる児童生徒 様々な課題を自ら求め、お互いの意見を尊重しながら対話による課題解決を図る主体性を持つ児童生徒 <p>○「学校・子どもはこうあるべきだ」といった価値観や固定観念を問い直す</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な価値観で子ども一人一人の学ぶ姿をみる。 <p>○自分が“考えて、決める、選ぶ”</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で方法を決めて課題解決に取り組んだり、議論したりする。 |
|---|--|--|--|

III 自校

| | | |
|--|---|--|
| <p>ミッション</p> <p>子どもたちが、主体的に未来社会を拓く力を育てる。 ・「学ぶ力」「考え表現する力」「向かう力」を育てる。</p> | <p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> | <p>課題を見つける力(自己決定) 対話をする力(コミュニケーション) 認め合う態度(思いやり)</p> |
| <p>学校教育目標</p> <p>夢が語れ 誇りを持ち 社会に貢献できる子どもの育成</p> | <p>めざす子ども像</p> | <p>課 明確な目標をたて、その目標にせまる学び方を自ら見だし解決に向けて方法をさぐる。</p> <p>対 課題や問題解決のために自己の経験などから意見を伝えたり、他者と対話することで考えを評価したり、深めたりして互いの考えを生かし合う。</p> <p>認 自己の考えや思いについて自信を持ったり認めたり、他者の思いや立場を尊重し、互いに高め合うことができる。</p> |
| <p>現状</p> <p><児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力テスト質問紙において、肯定的：否定的の項目数が18：51と、学習についての肯定感が低い。 将来への夢や希望について否定的で、学習へのモチベーションが低く、課題追求をあきらめやすい。 学校へ登校するのを楽しみにしており、友達との関わり楽しさを感じている。下校時には元気になっている。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、児童同士の考えを伝え合ったり、自己肯定感を高めたり、学ぶ楽しさを感じたりする児童が増えている。 特別活動を中心に、自分の生活を振り返ったり、自己決定や折り合いをつける場を増やしたりすることで、学んだことを意識したり、具体的な目標を明確に持ったりして行動する児童が増えてきた。 早寝、早起き、朝ご飯等、基本的な生活習慣が身につけていない児童が多く、欠席や遅刻をする児童が多い。 | <p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>ガッツ！～自分でデザインした学びだから ねばり強く課題を追求する学習</p> <p>内容等</p> <p>自らのゴールに向け主体的・協働的に課題解決に取り組む学びづくり～本質的なねらい、自己肯定感～</p> | <p>めざす授業の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らゴールを決定し、見通しを持ってあきらめずに挑戦している。 仲間とともに考えを深め合っている。 よりよい自分や集団をめざして、学び合い、自信を深めている。 |

| 年目 | 中期経営目標 | 重点 | 分類 | 短期経営目標 | 目標達成に向けた取組 | 評価指標 | 中間評価(10月1日) | | | | 最終評価(2月末) | | | | |
|----|----------------------------------|----|----|--|--|---|-------------|------|------|------|--------------------------------|------|------|------|------|
| | | | | | | | □指標に係る取組状況 | 力以評価 | 達成評価 | 改善方策 | □指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況 | 力以評価 | 達成評価 | 総合評価 | 改善方策 |
| 3 | 主体的に協働しながら学習に取り組む児童を育てる。 | ★ | 継続 | 課題発見・解決学習を展開する。 【重点】 ①教科単元の本質 ②課題設定と協働的な学び ③評価の在り方 ④個別の状況に応じた学習 | ①授業者の目標と観点の明確化 ②授業研究を課題発見と練り合いに焦点化 ③研修により指導と評価の一体化 ④ねばり強く個別の学習に取組める準備 | 数や式、言葉や図などを用いて考えを表現しすることができる児童(算数B基準7割) 評価テストにおいて、正答率40%以下を20%以内 | | | | | | | | | |
| 3 | 自己肯定感・自己有用感をもてる児童を育てる。 | | 継続 | 学校や人のために行動しようとする児童を育てる。(自己有用感) | 児童が創意工夫して自主的・実践的に取り組む係活動、委員会活動を計画実施 | 「めあてをもって学級活動や学校行事等に取り組んでいる。」肯定的評価90% | | | | | | | | | |
| 3 | 体力づくり、生活習慣を自ら見直し、改善しようとする児童を育てる。 | | 継続 | 運動習慣、生活習慣を自ら見直し、仲間と共に「元気に」過ごそうする児童を育てる。 | 改善したい生活習慣に児童が自らの取り組みを促す「体を動かしたくなる」ように「時間・空間・仲間」の視点で確保 | 「元気がよく外で遊んでいる」 「早寝・早起き・朝ごはんを意識して生活している」 肯定的評価85% | | | | | | | | | |
| 3 | 保護者から信頼される学校にする。 | | 継続 | 「学校が楽しい」と感じ、元気に下校する児童の増加 教職員が元気・笑顔で児童と向き合う職場環境をつくる。 | 行動や学習に困り感のある児童へ即時、組織的な対応 原則18時までに退校を実現 職員室モニターの活用やサーバ内整理 | 「学校へ行くのが楽しい」肯定的評価90% 時間外勤務時間、年間360時間以内の教職員80%以上にする。 | | | | | | | | | |

[プロセス評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準 |
|----|--|
| 5 | 取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。 |
| 4 | 取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。 |
| 3 | 取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。 |
| 2 | 取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。 |
| 1 | 取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。 |

[達成評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準 |
|----|------------------------|
| 5 | 目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。 |
| 4 | 目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。 |
| 3 | 目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。 |
| 2 | 目標を下回り、成果よりも課題が多かった。 |
| 1 | 目標を大きく下回り、成果が認められなかった。 |

[総合評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準 | |
|----|-----------------|-----------------|
| 5 | 100%以上の達成度 | 十分に目標を達成できた。 |
| 4 | 80%以上100%未満の達成度 | 概ね目標を達成できた。 |
| 3 | 60%以上80%未満の達成度 | ある程度目標を達成できた。 |
| 2 | 40%以上60%未満の達成度 | あまり目標を達成できなかった。 |
| 1 | 40%未満の達成度 | 目標を達成できなかった。 |